

衆議院文部科学委員会ニュース

平成 28.10.26 第 192 回国会第 3 号

10 月 26 日（水）、第 3 回の委員会が開かれました。

1 教育公務員特例法等の一部を改正する法律案（内閣提出第 17 号）

- ・松野文部科学大臣から提案理由の説明を聴取しました。
- ・松野文部科学大臣、三木財務大臣政務官、樋口文部科学大臣政務官及び政府参考人に対し質疑を行いました。

（質疑者及び主な質疑内容）

宮 川 典 子君（自民）

- ・都道府県教育委員会等における教員等の資質向上に関する「指標」を定めるに当たっては、文部科学大臣が定める「指針」を参酌するとされているが、「指針」の具体的な内容を松野大臣に伺いたい。
- ・校長は学校の経営者として必要なマネジメント能力を有することが不可欠であると考えますが、校長の経営面の専門性を高めるための研修体制の充実等の必要性について、松野大臣に伺いたい。
- ・研修体制の充実には、教員が研修を受講する時間の確保が不可欠であり、そのためには代替教員などの人員確保が求められると考えますが、そのための教職員定数の改善の必要性について、財務省の考え方を三木政務官に伺いたい。

吉 田 宣 弘君（公明）

- ・教員養成課程における学校のインターンシップ制の制度化について、中央教育審議会の答申にもその必要性が指摘されており、学生の時期から実際の仕事現場を経験する意義は非常に大きいと考えるが、文部科学省の検討状況を伺いたい。
- ・OECD の国際教員指導環境調査（TALIS 2013）において、我が国の教員の勤務時間数が参加国中で最も長時間であるとの結果となっていることについて、文部科学省の認識及び改善方を樋口政務官に伺いたい。
- ・教員を取り巻く環境の厳しさが増す中、国が現場の教員の意見を十分に聴き取り、必要な財政措置を図っていくことによって、学校現場の環境整備を促進していくべきだと考えるが、松野大臣の見解を伺いたい。